

たねを選び、実験の結果よい結果の出た水の深さのところにイネのたねをまく……という段階に到達するのである。

3. 実験の結果から出た参考にしたいデータ

(1) イネのたねをまく場合の水の深さについて

実験の条件；○24時間水浸した種子を使用

- 全体を11区とし、水深は0.5cmから10cmまでとする。
- 各区とも100粒のイネを任意に選び10%の食塩水で塩選したものを使用
- 水温25℃になるよう定温器（暗）内に静置

実験の結果

4月21日（播種後3日）

区	水深 cm										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
水深 cm	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
芽 mm	3	6	8	8	9	9	7	6	5	5	4
根 mm	4	1	10.5	0.3	0	0	0	0	0	0	0

4月27日（播種後10日）

区	水深 cm										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
水深 cm	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
芽 mm	50	50	60	50	40	40	40	40	50	50	50
根 mm	30	50	70	40	10	8	5	3	2	1	1
備考	子葉緑色、最長7cm、最短3cm、根の最長5cm	子葉緑色、最長7cm、根の最長8cm	子葉先端緑色、最長8cm、根の成長全体的に良	水面上の子葉30本、全体的に伸び悪い	水面上の子葉20本、水面上1cmほど、根は伸びず	水面上の子葉8本で白色、根1mmほどのものあり	水面上の子葉4本で白色、丈は4cmでも根はない	水面上の子葉なし、白色でひん弱、根の最長5mm	子葉水面上に出ず白色、根はほとんど1mmでいど	子葉、根とも9区とほとんど同じ	子葉、根とも9・10区とほとんど同じ

考察；○水深が浅い方が深い方よりも概して発芽・成長がよい。

- 水深が4cm以上になると、芽はひん弱に長く伸びるが、根の成長は極度に悪くなる。

○この実験の結果からは、水深1～2cmに保つのがよいようである。

写真-1は、水深1cmのもの（左）と、水深10cmのもの（右）の成長の様子を任意にとり出して比較したものである。芽と根の成長の差が明らかである。

写真-1

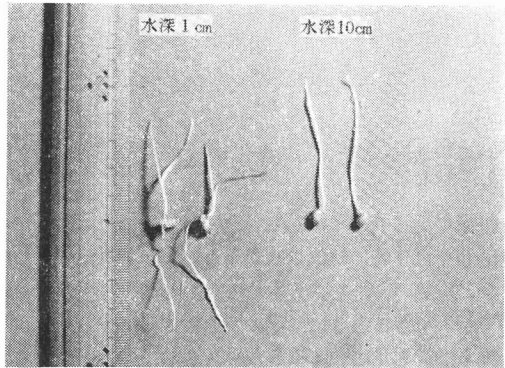


写真2-3は、水深を8cmにしてまいたイネの芽が1cmほどに発芽した段階で、一方は図-1のようにしてポンプで空気をおくり、他方はそのままの状態、7日間ほど放置しておいたものである。空気を送り続けた方の成長が著しく良いのに気づくだろう。

写真-2

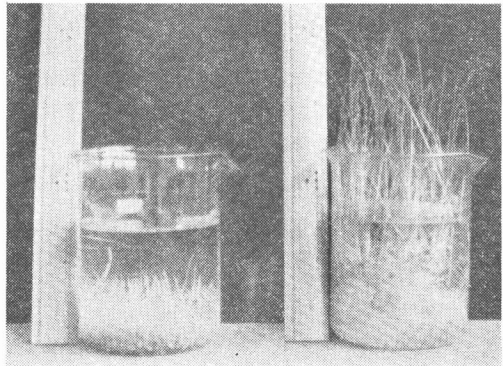
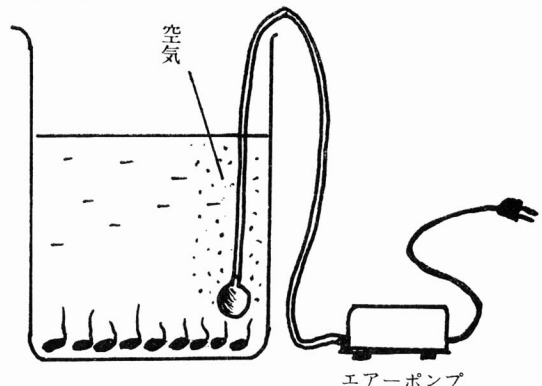


図-1



エア-ポンプ